



# 米

## 収穫時期が 来ます



藤枝営農経済センター  
松本 武志

稲刈時期を迎えます。ほ場ごと十分に観察し、適期防除・適期刈取りを心がけ、高品質米を収穫しましょう。

### 《カメムシ防除》

7月の静岡県病害虫防除所の発生予察情報によると、**本年のカメムシ発生量は「やや多」と**されています。斑点米の発生を防ぐため、確実な防除をお願いします。

### 《米粒を充実させる水管理》

幼穂形成期から出穂後14日間は多量の水を必要としますが、出穂後14日から30日は常時湛水にせ

キラップジョーカーフロアブル	1,000倍	収穫14日前まで
スタークル液剤	1,000倍	1回目 穂揃期(出穂80%頃)
		2回目 1回目の7~10日後
スタークル粒剤	3kg/10a	収穫7日前まで

ず、間断かん水を繰り返します。登熟期の高温障害による乳白米の発生を防止するため、出穂後は夜間通水で夜間の温度を下げましょう。

### 《落水時期を適切に》

落水時期の目安は、概ね刈取り7日~5日前とします。ほ場の状況に応じて調整してください。**早期の落水は胴割れ米の原因**となるので、注意が必要です(特に早生品種)。

### 《適期刈取りをしましょう》

一穂のみみが85~90%黄化した頃を収穫期としています。刈取り適期の判断は、不稔もみを除いたうち、緑色を帯びているもみ(帯緑粉歩合)が5~10%位の時です。帯緑粉歩合が半減するの5~7日かかります

#### 出穂期から収穫適期までの日数

ひとめぼれ	35日前後
コシヒカリ	38日前後
きぬむすめ	40日前後
あいちのかおり	45日前後

(20%が10%になるのが概ね6~7日程度必要。ただし、高温時は早くなります)。

### 《適正乾燥と網目・秤の確認を》

刈取り後は、もみの変質(ムレ米・変色米)を防ぐため、収穫後3時間以内には乾燥作業を開始してください。ただし、急乾燥や過乾燥すると胴割れの原因になります。すぐに火力乾燥せずに送風を5~6時間程度行い、水分ムラをなくすように調整します。その後、火力乾燥を水分低下率0.7%/h以下で行い、18%まで下げてから通風でもみの温度を下げ、4~6時間置きます。仕上げに、水分14.0%~14.5%になるよう乾燥調整します(2段乾燥)。乾燥終了後、冷風で冷ましてからもみ摺りをします。調整する網目は185mm以上とし、流量を少なめにして選別し、整粒歩合を高めましょう。